

県境産廃南側牧野水質調査結果(観測孔NO.1)

	採水日	塩化物イオン (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)
第1回	2022年5月11日	4.4	9.4
第2回	2022年7月6日	4.0	9.4
第3回	2022年9月7日	3.9	9.4
第4回	2022年11月7日	4.1	9.2
第5回	2023年1月13日	3.8	9.0

県境産廃南側牧野水質調査結果(観測孔NO.2)

	採水日	塩化物イオン (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)
第1回	2022年5月11日	10.0	7.6
第2回	2022年7月6日	10.0	14.0
第3回	2022年9月7日	11.0	8.0
第4回	2022年11月7日	12.0	9.0
第5回	2023年1月13日	10.0	12.0

○塩化物イオンとは？

塩素イオンとは水中に存在する塩化物を言い、塩化物は主として生活排水中に含まれています。

塩素イオンの濃度は汚染の一つの指標となります。

塩素イオンは、地域や場所によって数値に違いがありますが、二戸地域で別の場所で測定している地下水の塩素イオン濃度は5.5～7.5mg/Lです。

(参考)県境産業廃棄物処理現場(場内)の数箇所の測定値は平成21年12月で61～1300mg/Lです。

○電気伝導率とは？

電気伝導率は、水中に含まれる陽イオン、陰イオン合計量に関係があり、不純物(電解質)が多いほど伝導率が高くなります。

二戸地域で別の場所で測定している地下水の電気伝導率は16.0～22.0mS/mです。

(参考)県境産業廃棄物処理現場(場内)の数箇所の測定値は平成21年12月で42～550mS/mです。

ダイオキシン類毒性当量

	採水の測定結果	水質汚濁に係る 環境基準値
観測孔No.1	0.120	1pg-TEQ/L
観測孔No.2	0.180	

人の健康の保護に関する環境基準(28項目) 採水日 2022年11月2日

	観測孔No.1	観測孔No.2	地下水の水質汚濁に係る環境基準
カドミウム(mg/L)	0.0003未満	0.0003未満	0.003以下
シアン化合物(mg/L)	不検出	不検出	検出されないこと
鉛(mg/L)	0.002未満	0.002未満	0.01以下
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.05以下
ヒ素(mg/L)	0.001未満	0.001未満	0.01以下
総水銀(mg/L)	0.0005未満	0.0005未満	0.0005以下
アルキル水銀(mg/L)	不検出	不検出	検出されないこと
PCB(mg/L)	不検出	不検出	検出されないこと
ジクロロメタン(mg/L)	0.002未満	0.002未満	0.02以下
四塩化炭素(mg/L)	0.0002未満	0.0002未満	0.002以下
塩化ビニルモノマー(クロロエチレン)(mg/L)	0.0002未満	0.0002未満	0.002以下
1,2-ジクロロエタン(mg/L)	0.0004未満	0.0004未満	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン(mg/L)	0.002未満	0.002未満	0.1以下
1,2-ジクロロエチレン(mg/L)	0.004未満	0.004未満	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)	0.0005未満	0.0005未満	1以下
1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)	0.0006未満	0.0006未満	0.006以下
トリクロロエチレン(mg/L)	0.001未満	0.001未満	0.01以下
テトラクロロエチレン(mg/L)	0.0005未満	0.0005未満	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン(mg/L)	0.0002未満	0.0002未満	0.002以下
チウラム(mg/L)	0.0006未満	0.0006未満	0.006以下
シマジン(mg/L)	0.0003未満	0.0003未満	0.003以下
チオベンカルブ(mg/L)	0.002未満	0.002未満	0.02以下
ベンゼン(mg/L)	0.001未満	0.001未満	0.01以下
セレン(mg/L)	0.002未満	0.002未満	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/L)	0.05未満	0.27	10以下
ふっ素化合物(mg/L)	0.1未満	0.1未満	0.8以下
ほう素(mg/L)	0.1未満	0.1未満	1以下
1,4-ジオキサン(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.05以下